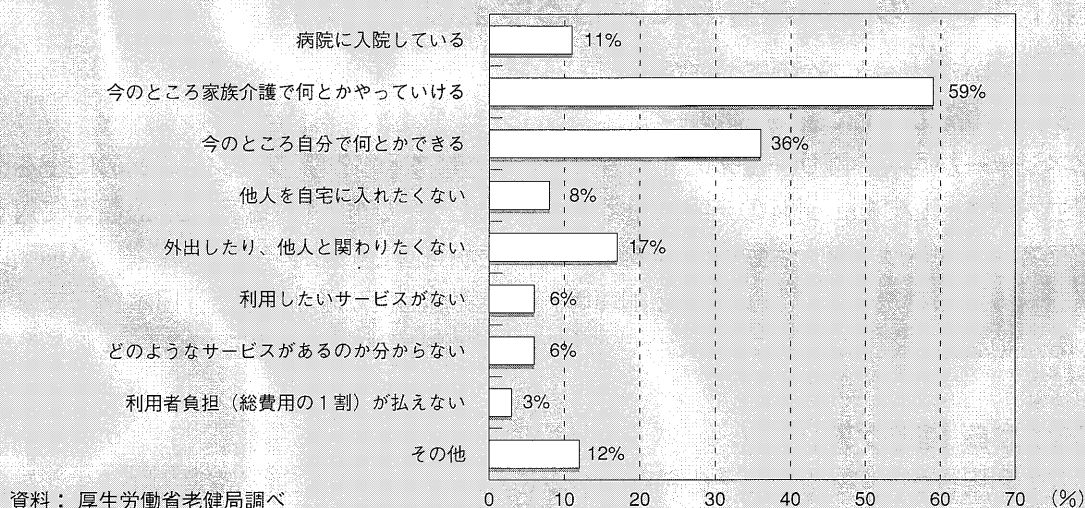
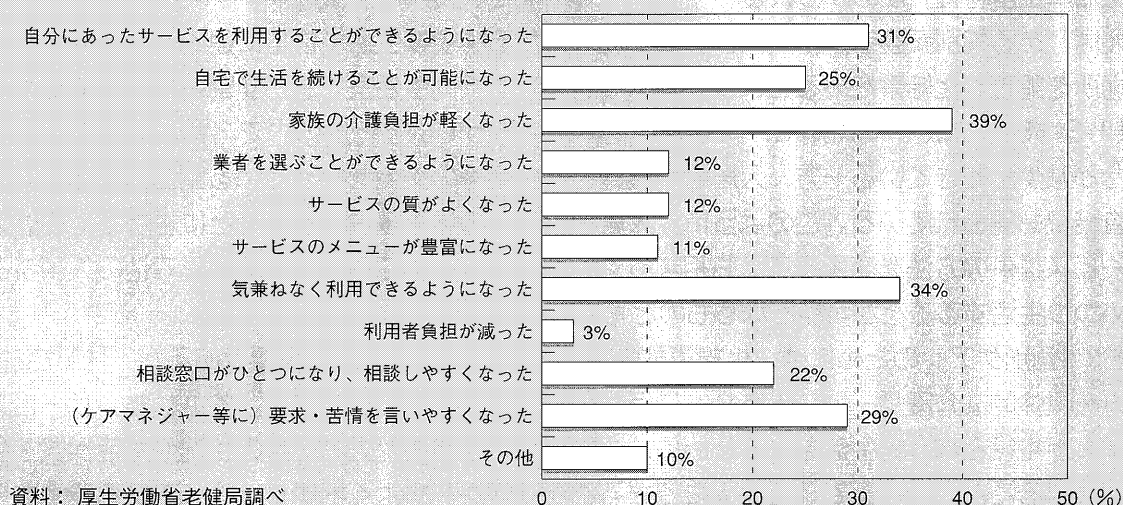


図表1-3-14 サービスを使わない理由（複数回答）



図表1-3-15 現在の制度に対する評価（複数回答）



～今後の制度見直し等～

- 制度施行後5年を目途として、介護保険制度全般に関して検討が加えられ、その結果に基づき必要な見直し等の措置が講ぜられるべきものとされている。見直しに当たっては、被保険者の範囲、保険給付の内容および水準、保険料のあり方などに加え、介護サービス量の増大やそれに伴う費用の増大への対応など、制度の長期的な安定の確保が課題であると考えられる。

<介護保険の枠を超えて：介護予防、生活支援等に関する取組み>

- 高齢者が要介護状態になることを予防するためのサービス（介護予防）や、高齢者の生活を支えるために必要なサービス（生活支援）等も、介護保険制度と同様に重要であり、市町村等においてさまざまな事業を地域の実情に応じて工夫しつつ効果的に実施できる体制が作られている。また、厚生労働省としても財政的支援等を行ってきている（介護予防・地域支え合い事業）。
- なお、自主的な地域社会での支え合い等を行う主体としてNPO法人や地域の自治会組織等が重要な役割を果たしているが、今後ともその役割は大きくなるものと考えられる。さらに、ひとり暮らし高齢者が病気になった場合等のための緊急通報体制の整備、住宅改修の普及等を通じた自宅における居住環境の向上、公共施設におけるバリアフリー（障壁除去）化の推進等を進めることも重要である。